

2009年
9月1日
No.76

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-522-7868

金融労連・個人加盟労組合同大会開催 「金融ユニオン」結成

金融労連・個人加盟労組合同準備会は、8月29日(土)から30日(日)、豊橋市において、合同(金融ユニオン結成)大会を開きました。全国各地から代議員・オブザーバーなど73人が集まりました。さざなみネットからは、5人が参加しました。

さざなみネットの浦谷代議員は議長団に、奥村代議員は選挙管理委員に(さざなみネット以外は省略)選出されたあと、田畑合同準備会代表が、「これまでの経過報告と組織合同について」議案を提案、拍手で確認され、役員選挙に入りました。選ばれた役員は右のとおりで、さざなみネットの山崎氏が副執行委員長、秋田分会の伊藤氏が執行委員に選ばれました。

翌日は、牧野委員長が運動方針案を、松井書記長が予算案を提案、討論に入りました。15人から発言があり、さざなみネットからは、清水代議員が発言をしました。(内容は下記)採決の結果、全員賛成で、提案通り決定されました。

役員 (敬称略)	
執行委員長	牧野三枝子
副執行委員長	伊藤宗孝・貝之瀬信夫 山崎幸雄
書記長	松井美智子
執行委員	伊藤達男・黒田清美 田畑俊郎・永田和夫
会計監事	浦野美樹子・富士野三男



松木金融労連委員長から
組合旗贈呈

金融ユニオン結成大会 スケジュール

29日(土)
開会あいさつ
議長団・大会役員選出
各委員報告
議案提案
これまでの経過報告と
組織合同について
採決
役員選挙
メッセージ紹介
選挙結果発表
新役員あいさつ
来賓あいさつ
組合旗贈呈

30日(日)
運動方針(案)提案
予算(案)提案
討論
採決
議長団・大会役員あいさつ
閉会あいさつ



清水代議員の発言要旨 仲間のため、若い世代への架け橋を担って

私たちは、昨日午後1時から、この豊橋市民センターで、定期全国大会を開き、金融労連傘下の個人加盟の5つの労働組合が解散し、新しい全国金融産業労働組合に組織合同することを、全組合員の直接無記名投票で決め、この大会に参加しました。

2006年3月から個人加盟労組合同準備会が8回、第1ステップ合同実務者会議が3回、3年余りにかけて、今日に至ったこと、関係されたみなさま、(裏面へ)



発言する清水代議員



大会の発言
首が、かかっている
成果主義

銀行は、金融商品販売に高いノルマを課し、未達成だと解雇通告をしてみました。組合に加入し、給与・賞与どころでなく、首がかかっている成果主義、ノルマ達成のためリスク商品を売らざるを得ない実態を告発、是正を求めています。

銀行では、外国の投信を多く販売していますが、専門の証券会社でも内容がよく分からない商品です。お客様は銀行を信用して買っているものであり、売り手責任があると思います。銀行は利益中心の市場主義でなく、お客様のことをもっと考えて販売してほしい。



本当にお疲れさまでした。

提案された運動方針(案)に賛成の立場で、私たちの組合がどのような活動をしているのか申し上げ、討論に参加させていただきます。

情報が欲しい 相談にのって欲しい 仲間の要望から結成



私たちの組合は、私たちが銀行を定年退職していくときに、いままでいろいろ交流してきた仲間の要望もあり、結成されました。その要望とは、「あなたたちが辞めてしまえば、いままでのように銀行や他の職場の仲間情報がもらえなくなる。たいへんなときに相談ができなくなる。あなたたちが入っていた組合には、どうしても入れない。なんとか今までのような交流を続けてもらえないものか」というものでした。

私たちの上部団体の地銀連は、労働相談を受けながら、未加盟・未組織の銀行労働者の個人加盟労組づくりを方針化し、その組織づくりに力を入れていました。そのため大津市に「地銀連・近畿労働相談センター」も設立していました。



役員はOBが中心 毎月執行委員会、仲間の声など持ち寄る

そんな中で、結成されたのが私たちの組合です。したがって、私たちの組合の役員はOBが中心で、組合員はいま述べたような方が中心で、ほかに関連会社の方、パートタイマーの方などがおられます。

私たち組合の役員は、1時間半以上かかる人もいますが、毎月執行委員会を開催しています。いろんな会議の情報や、仲間の声や銀行に行ったときに感じたこと、旅行や趣味など楽しかったことなどを持ち寄って話し合ってきました。

機関紙「さざなみ」を発行 仲間中心の企画



執行委員会で持ち寄った情報をもとに、機関紙「さざなみ」を毎月2

回発行しています。下部のコラム欄では「職場の声」「水墨画」と、仲間が中心の企画にしています。

組合員などには、毎月「さざなみ」を、「金融労連」や署名・チラシなどとともに郵送してきました。企業単位の組合の組合員・OBやニュース会員へも送付するとともに、ホームページに掲載いただき、多くの仲間に見ていただいています。

人的・財政的に、企業単位の組合が支援 仲間の状態・要求を重視した活動を

そんななかで、労働相談があったり、いろいろ聞いてきたりする仲間があります。組合員やその周りの仲間は、何かあったときは、相談できる、聞いてくれる、頼りになるという気持ちで、いろいろ交流をしてくれています。他の組合に身を置きながら、家庭の事情で働き続けなければならない方は、心の安心を語ってくれています。そういう活動を、人的にも財政的にも地銀連や企業単位の組合に支援を受け、お互いに情報を交流しながらやってきました。



私たちは、このように現存する企業単位の労働組合と共同・協力して活動していくことが大事だと考えています。また活動形態も、労働者の状態・要求からさまざまであり、いざというときのために「水面下の緩やかなつなぎ」も必要だと考えて活動してきました。

仲間のため、若い世代への架け橋を担って

これから活動のことや、財政のことなど、組織が一本化するよう話し合われると思いますが、私たちのような活動もいっしょにがんばって続けられるようお願いし、これからも、今までの銀行や地域での生活の経験を生かしながら、少しでも仲間のため若い世代への架け橋を担って活動していくことを決意して、発言を終わらせていただきます。



大会の発言

10年ぶりに組合復帰 仲間の励ましのおかげ

10年ぶりに組合の会議に出られるようになりました。体調を崩し、メンタルヘルス不全になり、約2年間休職、1年間週2・3日の仮出勤をして、やっと復職できるようになって、2年経ちました。

「週2・3日出て来たらどう」と言ってくれた上司、応援してくれたパートさんなど、仲間の励ましのおかげで、人並みにやっていけるようになりました。



分会会議の報告

8月30日第1回分会会議を開き、次のことを決めました。

- ・役員
- ・分会長 浦谷真子 他省略
- ・2009年度予算 省略
- ・上部団体への役員派遣 省略

省略